

教育体験 in 芸北

県立広島大学と広島県立加計高等学校芸北分校は平成 21 年度より高大連携の取組を行っています。そのうちの 하나가，教員志望の学生が講師となる「合同サマーセミナー in 芸北」です。

平成 22 年度は 8 月 2 日～4 日の 3 日間，加計高等学校，加計高等学校芸北分校，千代田高等学校の 3 校，108 人の生徒が参加してセミナーが開催されました。本学からは国際文化学科 4 年生の 3 人が，それぞれ，国語，社会，英語の授業を行ったほか，個別相談，討論会，クラブ活動，行事にも参加しました。

参加した学生たちの感想を一部，引用します。

○きちんとした挨拶，明るい笑顔，真剣な顔つき，一生懸命考える様子，部活動をやる姿，将来に悩む姿など，すべてに対して生徒は一生懸命でした。その思いに応えようと，私自身も一生懸命になって取り組めたように思います。3 日間を通して，自分自身もですが，なにより生徒たちの表情や目が刻々と変わっていく様子を見ることができ，とてもうれしかったです。

○授業でとくに感じたのは，生徒の思考力の高さです。授業では国際理解教育用教材の「貿易ゲーム」を使いました。教育実習の反省を踏まえ，今回は生徒主体の内容の濃いゲームができて，とてもよかったと感じています。

○神楽部の演舞や討論会を通じて，芸北分校の生徒たちが芸北という地域をととても大切にしていると感じました。芸北神楽を守るためにはどうすればいいのか，生徒たちが自分の意見をしっかり持っていて，発言も多く，とてもレベルの高い討論会になりました。

○神楽を中心とする「芸北文化」を継承する生徒ならではの討論が展開され，国際文化を学ぶ私たちにとってもいい刺激になりました。

